

一正蒲鉾株式会社

本社工場、本社第二工場／新潟県新潟市

一正蒲鉾は、食品メーカーとして、食の安全・安心を通じて豊かな食生活と健康寿命を支えるとともに、“ほんとうのおいしさ”と新たな価値の創造を目指した技術や機能性の開発・向上を進めています。また、本社工場、本社第二工場は、太陽光発電パネルの設置や本補助金を活用したCGSの導入により、環境に配慮した工場を目指しました。さらに、地震や津波等の災害発生時には、工場の一部を一時滞在施設として、地域住民の皆さまや帰宅困難者等に開放し、CGSを稼働させることにより、一時避難者に対して、照明・空調・電源だけでなく、工場で生産した製品の提供も可能とします。



外観

補助事業の概要

- 導入設備：停電対応型CGS 1,000kW×3台
ジェネリック 210RT×2台
- 共同申請者：東京都市サービス株式会社
- 導入方式：エネルギーサービス方式
- 補助金額：228,970千円(補助率1/2)
- 災害時の設備用途：[発電] 本社工場、本社第二工場(生産設備、照明、コンセント利用)
[温水] 本社第二工場空調利用(暖房)、ジェネリック熱源利用
[蒸気] 本社第二工場生産プロセスへの供給(かまぼこ等を製造し、避難者へ提供)
[冷水] 本社第二工場空調利用(冷房)

対象施設	避難所面積	供給方式
避難所	2,046㎡	中圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

一正蒲鉾株式会社 FAシステム部 兼 設備管理課 内田 久則 様

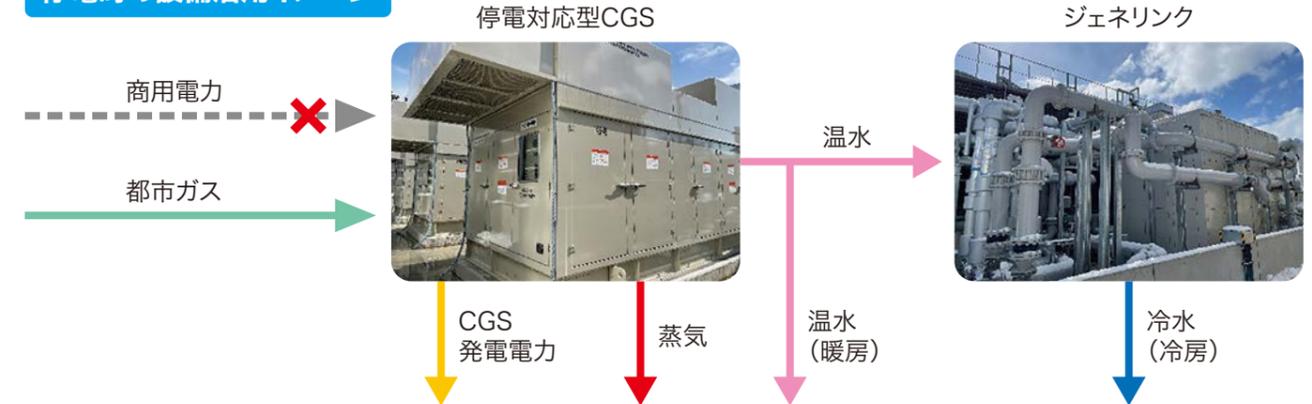
当社は、食品工場ということもあり、安定供給の観点から、有事の際にも生産ラインなどの工場の機能を維持したいという考えがありました。そんな中、本社第二工場を新設するにあたり、電力系統の余力が不足していたことがきっかけで、東京都市サービス(株)からご提案いただいた、災害時にも自立運転が可能な停電対応型CGSを導入することが決定しました。

また、地域住民の皆さまの安全確保に貢献すべく、以前より、津波等が発生した場合の避難所として、既設本社工場の屋上を提供する協定を自治体と締結していましたが、本社第二工場の新設にあたり、避難者の受け入れスペースが拡大できたことから、帰宅困難者等も対象とした協定を新潟市と締結しました。新潟市からは、「災害時の一時滞在施設の設置を進めているが、まだ不十分な状況であり、地元企業とこのような協定が締結できたことはありがたい。」と感謝の言葉をいただきました。

今回のCGS導入は、省エネ・省CO₂だけでなく、地域への貢献という点でもメリットに感じています。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



避難スペース(一例)



本社工場内の食堂

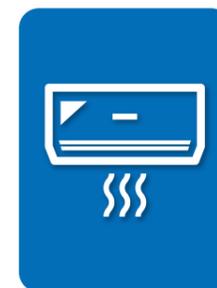


本社第二工場内の食堂



工場生産ライン

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調



照明



コンセント



物資提供

協定概要

新潟市と「災害時における一時滞在施設等の提供に関する協定書」を締結(令和5年3月)。地震、風水害、その他の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、本社工場、本社第二工場を一時滞在施設として利用することについて定めております。また、本協定書は、滞在場所やトイレ・水道・空調・照明および電源の提供だけでなく、工場で生産した製品も提供する内容となっています。